



平成 23 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 丸井グループ  
代表者名 取締役社長 青井 浩  
(コード番号 8252、東証第 1 部)  
問合せ先 財務部長 村井 亮介  
(TEL 03-3384-0101)

## 特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期におきまして、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成 22 年 11 月 12 日に公表いたしました平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）の通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 特別損失の計上について

#### (1) 利息返還損失引当金の繰入および貸倒引当金の繰入

当社グループでは、カード事業に関する法改正の影響および対応について、かねてより検討を重ねてまいりました。昨年 6 月に改正貸金業法の最終施行に伴い総量規制が導入され、その後の状況把握により、将来発生が見込まれる利息返還について合理的な見積りが可能となったため、平成 23 年 3 月期の連結決算において、特別損失に利息返還損失引当金繰入額 250 億円を計上することといたしました。

また、あわせて貸倒引当金につきましては、総量規制の対象となる債権について将来の貸倒予測を慎重に検討し、貸倒引当金繰入額 56 億円を特別損失に計上することといたしました。

#### (2) 固定資産の減損損失

このたびの東日本大震災やカード事業における総量規制の導入などの影響を考慮し、改めて店舗の将来収益を予測した結果、一部店舗の固定資産について減損処理が必要となったため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失 83 億円を計上いたします。

### 2. 平成 23 年 3 月期連結業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損益	1株当たり 当期純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	410,000	13,000	12,000	6,000	21.92
今回発表予想（B）	406,500	14,800	14,100	△23,700	△86.59
増減額（B－A）	△3,500	1,800	2,100	△29,700	—
増減率（％）	△0.9	13.8	17.5	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 22 年 3 月期）	419,255	10,438	9,924	5,104	18.65

### 3. 修正の理由

小売事業では、お客様ニーズに基づく商売の見直しを継続・強化することで、客層ならびに客数の拡大による売上高の回復をめざしてまいりました。その結果、既存店のお買上客数は前年比4%増と3年連続で前年を越え、売上高は2月までの累計期間では計画を上回って推移いたしました。しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災やそれに伴う計画停電等の影響により、3月の売上高が前年に対し約60億円と大幅に減少し、通期では計画を下回る結果となりました。

一方、カード事業では、加盟店でのショッピングクレジットのご利用が前年の1.3倍と引き続き好調であったことに加え、キャッシングの取扱高が想定以上に推移したことなどにより、売上高は計画を上回るとともに増収となりました。

また、利益面では、販売事務費や設備費など経費の追加的な削減をすすめるとともに、総量規制に関する貸倒引当金の会計処理を特別損失で行ったことなどから、営業利益は約148億円、経常利益は約141億円と前回予想を上回る見通しとなりました。

最終損益につきましては、上記の特別損失のほか、第3四半期に計上した投資有価証券評価損や、震災による店舗設備の補修費等を4億円程度計上する予定であることなどから、約237億円の純損失となる見通しです。

なお、改正貸金業法の施行や利息返還請求など、カード事業は厳しい経営環境が続いてまいりましたが、今回の引当金の計上により、将来の損失に備えた対応がほぼ終了するものと考えております。今後はよりいっそう小売事業とカード事業の連携を強化し、お客様ニーズにお応えしたさまざまな施策に積極的に取り組み、さらなる収益の拡大に努めてまいります。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

以 上